



# オーライ! ニッポンニュース

第7回オーライ!ニッポン大賞には、全国から100件を超える公募をいただきました。関係者の皆さん厚く御礼申し上げます。1月25日に事務所を神田に移転しました。平成22年2月4日(木) オーライ!ニッポン会議 (財)都市農山漁村交流活性化機構

## 第7回運営委員会開催

平成21年12月4日 第7回都市と農山漁村の共生・対流推進会議(オーライ!ニッポン会議)運営委員会を開催しました。

日時:平成21年12月4日(金)14:00~  
場所:東京都中央区八重洲1-3-7  
八重洲ファーストフィナンシャルビル  
3F ベルサール八重洲3F5号室

丹羽会長欠席のため規約に基づき、運営委員長代行の井上和衛氏の挨拶を皮切りに、来賓挨拶として、農林水産省農村振興局の遠藤課長補佐から挨拶をいただきました。

その後、井上運営委員長代行が議長を務め議事進行を進行しました。

### 最初の議題は、議題1 役員を選任及び顧問の推薦について

新たな任期を迎えた役員を選任について、規約及び新役員名簿案により事務局から提案し、新たな任期の運営委員、養老代表、平野副代表の再任と安田喜憲氏を副代表に選任(新任)、運営委員、顧問の再任、更に運営委員会会長として金子家治氏を選任しました。

その後、井上運営委員会会長代行に代わり、金子家治新運営委員会会長が議事を進行。金子新運営委員会会長の就任挨拶後は、金子委員長が議長に就任し進行しました。

### 議題2 オーライ!ニッポン会議これまでの活動等について

オーライ!ニッポン事務局の(財)都市農山漁村交流活性化機構 齋藤専務理事が着旅、おかあさん百選、農産物直売所サミット等の農山漁村への国民の関心の高まり、共生・対流の反響、新たな可能性の状況を説明し、続いて、事務局から資料2「オーライ!ニッポン運動の活動状況」他資料に基づき、21年度の主な活動、「ようこそ!農村へ」キャンペーン、GT商品コンテスト等の活動の進捗状況について説明しました。更に、「(財)都市農山漁村交流活性化機構による“子ども農山漁村交流プロジェクト”の取組状況」を吉田部長から説明し、質疑応答・意見交換を行いました。

### 議題3 今後の都市と農山漁村の共生・対流の促進について

第7回オーライ!ニッポン大賞の審査スケジュール及び全国大会の予定の他、都市と農山漁村の共生・対流の運動の7年間経過を踏まえ、現在の取組み、今後に向けての提案等について、運営委員、関連団体各位から座席順に共生・対流活動の近況等をコメントをいただきました。

議題4 その他 では、来賓の農林水産省農村振興局都市農村交流課の遠藤補佐より予算状況等について話がありました。

★新たにオーライ!ニッポン副代表に就任いただいた安田喜憲氏のプロフィールは、以下の通りです。

- 1946年三重県生まれ
- 1970年立命館大学文学部地理学科卒
- 1972年東北大学大学院理学研究科地理学専攻修士課程修了
- 1978年博士号(理学博士)取得
- 1988年国際日本文化研究センター助教授
- 1994年国際日本文化研究センター教授
- 1995年麗澤大学客員教授
- 1996年フンボルト大学客員教授

- ★専門:環境考古学(古代文明の比較研究)
- ★著書:「生命文明の世紀へ」第三文明社レグルス文庫、「環境考古学事始」洋泉社、「一神教の闇」筑摩書房、「文明の風土を問う」(共著)麗澤大学出版会、「山岳信仰と日本人」(編著)NTT出版、「気候と文明の盛衰」朝倉書店、「稲作漁労文明—長江文明から弥生文化へ」雄山閣、
- ★社会活動:日本生態系協会理事、国土緑化推進機構「森の手・名人100人」選定委員、スウェーデン王立科学アカデミー会員、東京財団主任研究員、森林文化協会理事会・評議委員会委員、淀川水系流域委員会委員、NHK経営委員

安田喜憲副代表には、オーライ!ニッポン大賞審査委員会会長も勤めていただいております。



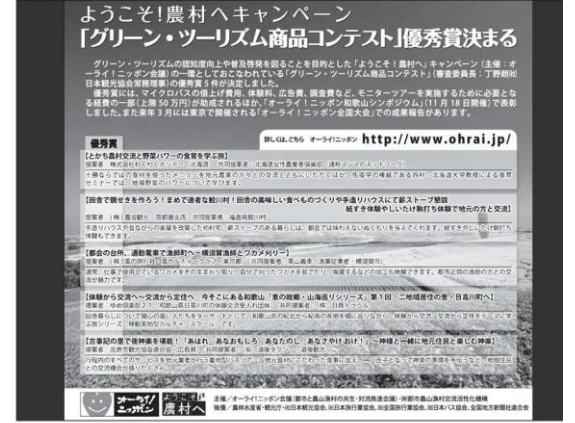
安田喜憲氏

## ようこそ!農村へ キャンペーン

### グリーン・ツーリズム商品コンテスト優秀賞の広報

グリーン・ツーリズム商品コンテスト優秀賞決定の概要をマスメディアによって広報しました。

- ★毎日新聞:朝刊全国版に掲載  
東京12月2日付、大阪12月3日付、西部12月2日付、中部12月3日付、北海道12月2日付
- ★交通新聞社「旅の手帖」(1月号)に掲載。  
12月10日発売



## オーライ!ニッポン会議活動状況

平成21年12月4日

オーライ!ニッポン会議(都市と農山漁村の共生対流推進会議)

### 1. 発足日 平成15年6月23日

- 代表 養老孟司(東京大学名誉教授)
- 副代表 (前)川勝平太(元静岡文化芸術大学学長)  
(新)安田喜憲(国際日本文化センター教授)  
平野啓子(語り部、大阪芸術大学教授)
- 運営委員会会長 (前)丹羽 宇一郎(伊藤忠商事株式会社取締役会長)  
(新)金子 家治(元トップツアー(株)取締役会長)

### 2. 会員数575(平成21年11月末時点)

民間団体167、NPO等72、公共団体180、地域団体78、個人77

### 3. WEBサイトアクセス数

平成15年3月末(プレサイト)から平成21年11月末まで累計 428万件

### 4. 共催・後援等のキャンペーンイベント(ロゴマーク等を活用したキャンペーン)

6カ年間のべ300件

### 5. 共生・対流モニター数 約700名

### 6. 優れた事例の表彰 オーライ!ニッポン大賞

・応募総数 780件 表彰数108件(オーライ!ニッポン大賞79、ライフスタイル29)

年度・応募数	オーライ大賞(ライフスタイル)応募数→グランプリ受賞地区
第1回(15年度)	160件(23) 長野県飯田市
第2回(16年度)	115件(18) 兵庫県多可町(旧八千代町)
第3回(17年度)	122件(21) 青森県南部町(旧名川町)
第4回(18年度)	90件(24) NPO体験観光ネットワーク松浦党、松浦体験観光協議会(長崎県松浦市)
第5回(19年度)	84件(25) 幡多広域観光協議会(高知県四万十市他)
第6回(20年度)	87件(11) 特定非営利活動法人おぢかアイランドツーリズム協会(長崎県小値賀町)

### 7. 地方シンポジウム及び全国大会 のべ参加者数 6,780人

- H15年度(15年11月21日 長崎市、参加者400名)、第1回全国大会600名
- H16年度(16年9月10日 北海道札幌市、参加者700名)、第2回全国大会550名
- H17年度(17年9月2日 群馬県前橋市、参加者550名)、第3回全国大会600名
- H18年度(18年9月6日 東京都、参加者520名)、第4回全国大会550名
- H19年度(19年11月16日 山形市、参加者250名)、第5回全国大会500名
- H20年度(20年5月19日 子ども農山漁村交流プロジェクトキックオフシンポ 650名)  
(20年11月9日 新潟市、参加者230名)、第6回全国大会420名
- H21年度(21年11月18日 和歌山市、参加者250名)

**TOPICS**  
「ようこそ！農村」キャンペーンで全国から公募  
**優秀ツアー決定!**  
「ようこそ！農村」

**旅の手帖**  
1月号の内容

## 優秀賞モニターツアー実施

優秀賞に選ばれました「古事記の里で夜神楽を楽しむ旅」と「とちかち農村交流と野菜パワーの食育を学ぶ旅」が実施され、参加した都市生活者から大好評でした。このツアー開発実施にかかわった関係者の皆さんも来年もぜひやりたいと新たな意気込みに燃えております。

●古事記の里で夜神楽を楽しむ！「あはれ あなおもしろ あなたのし あなさやけ おけ！」～神様と一緒に 地元住民と楽しむ神楽  
提案者：庄原市観光協会連合会（広島県）、共同提案者：（有）道後タクシー・道後観光  
目的エリア／広島県庄原市 日程／1泊2日 催行日／11月21日（土）～22日（日）募集人数／20名（最小催行人数15名）販売予定価格／23,800円 出発地／庄原市（庄原バスセンター、食彩館 しょうばらゆめさくら）

### ＜旅行商品の概要＞

旅行会社、バス事業者等を含めて行程内のすべてのサービスを地元業者が行う着地型バスツアー。野菜から比婆牛、ゴギ、山菜、地酒、りんごなど、地元食材にこだわった食事に加え、一日氏子となって神楽の準備を手伝ったり、地元の人たちと一緒に社殿で神楽を觀賞するほか、地元ガイドによる古事記の解説を聞きながら熊野神社を参拝、東城のまちなか散策、刀匠の道場見学など、地域住民との交流機会が盛りだくさん。宿泊は、国定公園帝釈峡湖畔に立地するホテル。

### ★催行結果



○参加人数：10名（男性5名、女性5名）  
○どの地域からの参加が多かったかですか？

ほとんどが県内の広島市や福山市等の都市部の参加者でした。

○体験ツアーについての参加者の反応、声は？  
・神楽の準備から参加して普段見られないところを見たり、手伝いができて良かった。（社殿での飾り付けなども見ることができた）

・神楽の準備では、「土公旗」（どくうばた・神事で使うもの）を参加者全員が笹の100本以上作成（笹の葉を落とし紙を結ぶ）するなど作業を行ないました。

と一緒の空間に入れたと一体感を感じたようでした。

○また受入れや体験を提供された地元の関係者の反応は？

・神楽の会長さんが普段は地元の関係者だからストーリーを知っているので説明等はしないのだが今回は、この神楽ツアーのために参加した人に説明するなど地元関係者も観光客が来て盛り上がりました。

○来年度のツアーの予定等は？

神楽の開催日決定後に決まるが22年11月に実施する予定です。

●とちかち農村交流と野菜パワーの食育を学ぶ旅  
提案者：（株）わくわくホリデー（北海道）、共同提案者：北海道女性農業者倶楽部（通称：マンマのネットワーク）

◆目的エリア／北海道十勝エリア（清水町、鹿追町、新得町、芽室町）日程／1泊2日 催行予定日／12月18日（金）～19日（土） 募集人数／30名（最小催行人数10名）販売予定価格／15,000円 出発地／札幌市（JR札幌駅北口）

### ＜旅行商品の概要＞

北海道十勝に点在するマンマのネットワーク（北海道女性農業者倶楽部）の職場などに立ち寄り、農業現場からの生の声を聞きます。食事は毎食、十勝ならではの食材を使ったメニューをご用意、地元の農家の方々と語りながら交流していただきます。また、初日には食育セミナーを開催。免疫学の権威である北海道大学の西村教授をお招きし、地場野菜を食べることから健康パワーを作り上げる食育を学びます。

### ★催行結果

○参加人数：12名（男性0名、女性12名）  
参加者は12名。全員女性40代から70代。  
○どの地域からの参加が多かったかですか？

ほぼ札幌

○体験ツアーについての参加者の反応、声は？

アンケートの全体の印象という設問では、全員「よい」という感想でした。（アンケートのご意見から）「味噌づくり、バターづくりに興味があって参加しましたが、講演やデスカッションのお話を聞いて、本当の食育の意味や地元の方々の活力が強く伝わり衝撃的でした。その後農家のお母さん方の自信に満ちた笑顔、本物を伝えたいという意気込みが感じられ、エネルギーをたくさんもらったと思います。貴重な体験をさせてもらいました。」「マンマの会の皆様にはとてもよくしていただき感謝しています。あたたかい気持ちになれたこのツアーは良かったです」「体験が特に良い。生産者と直接会話ができてとても良かった」

○また受入れや体験を提供された地元の関係者の反応は？

参加者6名が一般参加者と夕食や味噌づくりを通じて交流しました。その結果、一般参加

者全員がマンマのネットワークの活動イベントに今後とも参加・応援したいということになり、消費者と生産者の輪がこのツアーがきっかけで出来上がりました。

また、マンマのネットワークの販売している農業加工商品を説明しましたが、参加者の消費者サイドの意見から、その後で新しい商品開発をすることになったりして、生産者側にも収穫があったようでした。

○来年度のツアーの予定等

マンマのネットワークと今回の結果を踏まえて内容を検討し22年も12月に実施する予定です。

残り3つのモニターツアーが3月に実施します。

●田舎で親せきを作ろう！まめで達者な鮫川村！田舎の美味しい食べものづくりや手造りハウスにて薪ストーブ懇談 紙すき体験やしいたけ

駒打ち体験で地元の方と

交流 提案者：（株）農協観光

首都圏支店（東京都）、

共同提案者：福島県鮫川村

目的エリア／福島県鮫川村

日程／1泊2日 催行予定日／3月6日（土）

～7日（日）募集人数／25名（最少催行人数15名）

販売予定価格／14,800円 出発地／東京都

（JR上野駅公園口）

＜既に定員を超える申込みがあり、キャンセル待ち

になっています。＞



●都会の台所、通勤電車で漁師町へ - 横須賀漁師とワカメ刈り  
提案者：（株）風の旅行社

社・風カルチャークラブ（東京都）、共同提案者：栗山

義幸（漁業従事者・横須賀市）

目的エリア／神奈川県横須賀市

日程／日帰り

催行予定日／3月14日（日）募集人数／20名

（最小催行人数10名）販売予定価格／8,000円

出発地／横須賀市（京浜急行県立大学駅）



●体験から交流へ～交流から定住へ 今そこにある和歌山「恵の故郷・山海巡りシリーズ」第1回 二地域居住の里・日高川町へ

提案者：ゆめ倶楽部21

（和歌山県日高川町の体験交流受入れ団体）、共同提案者：（株）日興トラベル

目的エリア／和歌山県

日高川町

日程／日帰り 催行予定日／3月27日

（土）募集人数／40名（最小催行人数20名）

販売予定価格／8,000円 出発地／大阪市（JR大阪駅）



## オーライ!ニッポン全国大会開催案内

第7回オーライ!ニッポン全国大会を3月10日に東京有楽町の朝日ホールで開催致します。全国の優良事例の紹介、基調講演、グリーン・ツーリズムの推進に関する実践者や専門家等による事例発表やパネルディスカッションをプログラムの予定としています。日頃、都市と農山漁村の共生・対流に活躍される方々の参考となる内容にしてまいりたいと思いますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております※詳細については固まり次第WEBサイトでご案内します。

## 事務所移転のお知らせ

オーライ!ニッポンの事務局庶務を勤める（財）都市農山漁村交流活性化機構の事務所を1月25日に移転しました。

★新事務所住所：〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町45番地 神田金子ビル5階

★最寄り駅：JR神田駅東口、東京メトロ銀座線神田駅、地下鉄都営新宿線岩本駅

★新電話番号 03-4335-1981(代表)、03-4335-1985(地域活性化部・オーライ!ニッポン事務局)、FAX 03-5256-5211